

## 令和3年度第三セクター経営評価結果及び対応について

## 一般財団法人青森市文化観光振興財団

## 1 令和3年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	改善の余地あり	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	改善の余地あり	概ね良好	概ね良好
第三次評価 (評価委員会)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	改善の余地あり	概ね良好	概ね良好

## 【改善の余地ありの理由】

財務の健全性：新型コロナウイルス感染症の影響等による事業収益の大幅減により赤字決算となったため。

## 【青森市第三セクター経営評価委員会による意見等】

財務の健全性：当期利益を確保できるよう収入の確保や経費の縮減が必要である。

黒字化に向けて、実現可能な計画を策定し、計画の進捗状況を適時適切にモニタリングしていく必要がある。

総括的な所見：新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少が、ユーサ浅虫の物販収入の大幅な減少の要因となり、財団全体の経営に影響を与えたが、これまでの観光客に依存した事業展開だけでは安定した経営は難しいことから、今後は地域住民による施設の利用促進など、コミュニティ志向のビジネスにも力を入れる必要があると考える。関係団体との連携により実施されたイベントでは、多くの地域住民が浅虫地区を訪れ、施設利用者数の増加にもつながったことから、今後はそのような取組を強化するとともに、使用されていないスペースの有効活用方法も検討していく必要があると考える。

## ※参考 令和2年度決算

■当期損益 △29,314千円 累積損益 24,628千円

## ■市からの収入

全体593,038千円（経常収益に占める割合 R2：72.8%←R1：63.2%）

うち競争によらないもの 85,769千円（経常収益に占める割合 R2：14.5%←R1：12.0%）

## 2 第三セクターの対応

## ◆経営戦略プラン(R2～R4)の取組と計画

経営基盤の強化、指定管理施設の機能充実と美化活動、利用者サービスの充実、地産地消の推進、文化芸術の普及振興、スポーツの普及振興、情報発信の強化、人材育成の強化、公益事業の強化、収益事業の強化という経営戦略方針に基づき事業を推進。

## ○具体的取組

①組織構成及び責任者の配置・役割の見直しによる経営責任の明確化

②指定管理施設の防災・防犯管理の徹底

③イベントの見直しと各施設の特性を生かしたイベントの検討

④職員を育成し施設の情報発信を強化

## ○財務計画：毎年度当期損益の収支均衡を最低限維持

## 【取組状況】

令和3年度については、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、施設の休館、イベントの中止など計画通りに進めることが出来なかった取組があったものの、各事業所において責任者を配置し、部門ごとに損益管理を行い、経営基盤の強化を図った。また、ユーサ浅虫においては、「ゆーさ広場」の開催、鉢花コーナーやカプセルトイレコーナーの増設など、来館者の増加策に努めている。

令和4年度以降については、当財団の経営健全化に向け、地域住民の利用の促進に努めるとともに、青森市や関係団体との連携を強化し、持続可能な法人として収益性の高い自主事業を展開していく。

## 3 市の対応

ユーサ浅虫に関しては、令和4年7月のリニューアルを目指し、物販コーナーの改修やキッズコーナーの設置、案内表示の改修等を行い、浅虫地域の拠点として、観光客のみならず地域住民の利用促進を図り、魅力ある道の駅となるよう取り組む。また、新型コロナウイルス感染症拡大により物販収入が減少していることから、毎月売上状況を確認し、改善に向けた協議も行っている。今後も財団全体として当期損益の収支均衡を最低限維持できるよう、経営戦略プランに基づいた取組等の計画的な実施、収益事業の更なる検討・実施を求めていく。